

松島りおん プロフィール

まつしま りおん

松島りおん

2002年

4月20日生まれ。長久手市在住。

学び

中央大学法学部政治学科を卒業。

伝える

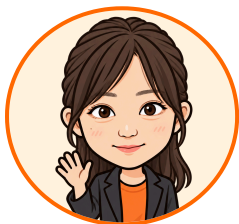
在学中は「学生新聞」のインターンに参加。政治家の話を聞き、取材や記事制作に携わりました。

現在

卒業後は個人事業主として活動。市議会の傍聴や、地域の声を聞く活動を続けています。

好きなこと
カラオケ。

大学卒業時



暮らしの中の「不便」から。

長久手でバスを使うとき、移動の不便を感じました。身近な課題を自分の目で確かめ、声を聞きながら考えていきます。

松島りおん後援会・設立準備中

仲間を募集

長久手のこれからを一緒に考える、入会希望の事前登録を受け付けています。

**公式サイト**

matsushima-rion.pages.dev

SNS

@matsushima_rion

連絡先

〔電話番号・メール〕

入会希望の
事前登録

紹介カード

お友達・お知り合いを ご紹介ください

後援会活動のご案内に使用します

お名前（フリガナ）

TEL

ご住所

あなたとのご関係

発行：松島りおん後援会
〔所在地〕まつしま
りおん
松島りおんまつしま
りおん

24歳 **本気で** 頑張ります！

2002年生まれ／長久手市在住

中央大学法学部政治学科 卒業

若い世代の声を、市政へ。市議会の傍聴を続け、地域を歩いて声を聞いています。子育て、毎日の移動、まちのにぎわい。暮らしの身近なことから、長久手の未来と一緒に考えます。

- 01** ふるさとを学び、子どもの力を育てる
- 02** 学童の受入れと、子育ての支えを厚く
- 03** 暮らしの負担を軽く、税金の使い道を確かに

6つの政策は中面へ →

松島りおんの 強み

強み 1

しがらみのなさ と行動力

組織に長くいた経験がない分、既存のやり方に縛られません。9月から市議会の傍聴や、地域を歩いて話を聞く活動を自分の足で続けています。

強み 2

現場から 声を集める姿勢

地域の方々の暮らしの困りごとを、直接聞いて回っています。誰かが決めたルールに任せきりにせず、自分の目で確かめてから動きます。

今やっていること

2026年9月から、市議会の傍聴と地域でのヒアリングを継続中。まだ実績と呼べるものではありませんが、まず現場を歩くことから始めています。

01

教育

ふるさとを学び、 子どもの力を育てる



- **地域を学ぶ機会の充実**
郷土学習や、農業・仕事にふれる体験を地域とともに。
- **参加しやすい地域部活動**
地元の指導者・団体との連携と、家庭の費用負担への配慮。
- **先生が子どもと向き合える学校へ**
学校の状況に応じた補助員等の配置と、業務負担の軽減。

02

子育て

学童の受入れと、 子育ての支えを厚く



- **学童の受入体制の充実**
学校施設等の活用と支援員の確保で、放課後の安心を。
- **多子世帯の負担を軽く**
既存制度を踏まえ、保育・学童にかかる費用を丁寧に検証。
- **迷わない子育て情報**
必要な家庭へ届く、分かりやすい制度案内と申請手続。

03

暮らしの負担と財政

暮らしの負担を軽く、 税金の使い道確かに



- **国民健康保険税の負担軽減**
財源と制度の持続性を確かめ、可能な軽減策を検討。
- **水道料金の負担軽減**
市の支援と水道企業団との連携、その両面から検討。
- **地元に還るふるさと納税**
地元事業者が参加しやすい返礼品と、寄附・経費の効果検証。
- **補助金・委託費の効果検証**
必要なサービスを守りながら、税金の使い道を見直す。

04

土地・防災・地域の安心

まちの環境と、 暮らしの安心を守る



- **土地取得の透明性**
外国資本を含む土地取得の把握と、法令に沿った情報公開。
- **大規模施設の慎重な確認**
太陽光・データセンター・産廃施設等の規制点検、住民説明、環境・防災への配慮。
- **災害への備えをもう一度点検**
市の備蓄と、JA・事業者との供給協定を実効性あるものに。
- **分かりやすい生活ルール**
多言語での周知と、地域の相談・自治会支援の充実。

05

交通と観光

移動の不便を減らし、 まちににぎわいを



- **N-バスを使いやすく**
公共交通が届きにくい地域・時間帯に合わせたルートと便数。
- **予約制の乗合交通を身近に**
利用区域・運行時間・予約方法を分かりやすく。
- **通院・買い物・通学を便利に**
見やすい時刻表と、交通機関をつなぐ使いやすい乗継ぎ。
- **ジブリパークのにぎわいを市内へ**
地元の商店や地域資源をめぐる周遊企画と案内の充実。

06

市民参加と発信

若い世代の声を、市政に



- **若い世代の声を聴く**
継続して意見を集め、市政につなぐ場を充実。
- **市政を分かりやすく**
何が話し合われ、どう決まったかをSNSなどで発信。
- **企業・団体献金は受け取らない**